Current Status and Issues of Visualization Research for Large-Scale Dataset

Kenji Ono RIKEN

AICS Cafe 6 July 2012

Introduction

大分県日田市(1966)

日田高校(1984卒業)

熊本大学工学部・大学院(1984-1990)

日産自動車 中央研究所 (1990-2001)

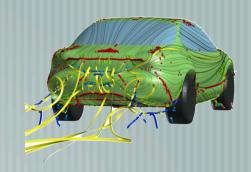
東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻(2001-2004)

理化学研究所 (2004-)

北海道大学大学院工学研究科 客員准教授(2007-)

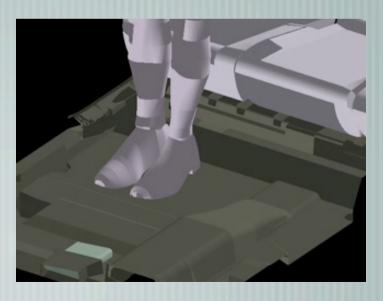
理研ベンチャー アイサイブ 代表取締役 (2007-)

東京大学 生産技術研究所 (2011-)



Automotive Engineering





東京大学大学院機械工学専攻

強力超音波による癌治療

- 脳腫瘍, 前立腺がん

結石破砕

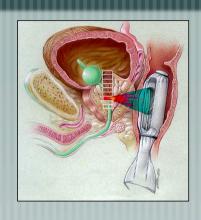
- 腎臓結石,胆嚢結石

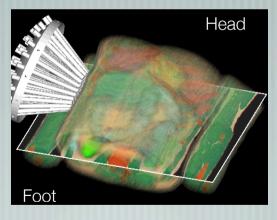
新しい研究へチャレンジ

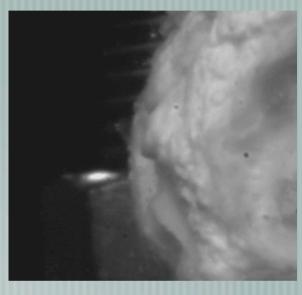
一 可視化

文科省在外派遣プログラム

- ― 米国で半年の生活
- **一 ワシントン大, カリフォルニア大デービス校**





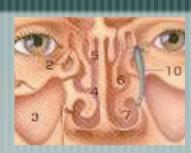


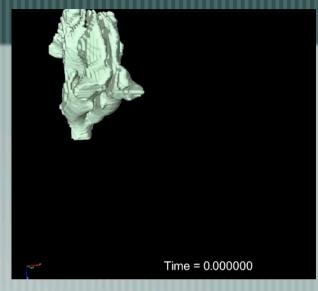


理化学研究所

VCADプロジェクト

- ― 熱流体シミュレーション
- ― 生体・工業製品







小野謙二1)、横田秀夫2,3)、覚正信徳3)、西村将臣2)、姫野龍太郎3)

- 1) (独) 理化学研究所 製品機能シミュレーション開発チーム
- 2) (独) 理化学研究所 VCAT 開発チーム
- 3) (独) 理化学研究所 生体力学シミュレーション特別研究ユニット



東京大学 生産技術研究所

|神戸に移る

スパコンを使った研究

- ― 日本ではここでしかできない研究
- ― シミュレーションコードの開発
- ― 結果の可視化研究

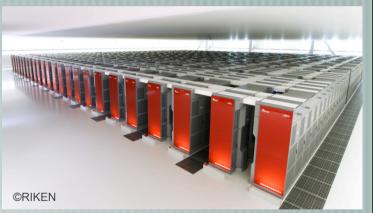
Large-Scale Computer Resource

for what?

Science and Engineering, related to social activity

improve

- Accuracy
- More complex physical model
- Real world problem (complex geometry, BC,...)
- Time frame

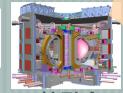


人間系全体解析









核融合



Feature scale

Reactor scale

Atom, Molecule

Electron, Nucleus

デジタルエンジニアリング

生体分子ネットワー

血流解析











地球の誕生

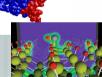




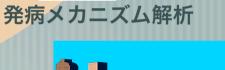
ナノマシン設計

タンパク質





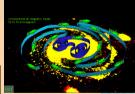
分子構造



結合能解析 (創薬)



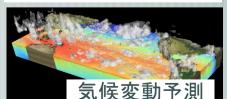
都市環境設計/地域防災

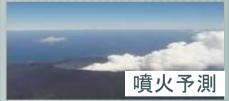


銀河の形成



地震動予測





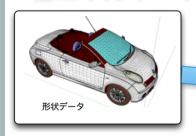


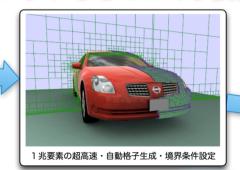
気候変動予測 溶岩流シミュレーション





低エネルギーインパクトなものづくり技術





プリプロセス

製造過程やランニングコストを抑制により,エネルギー問題に貢献 最適設計

実世界の現象を再現

複雑な現象・複雑な形状 構造,熱,流体,材料,分子などの連成シミュレーション

短時間シミュレーション

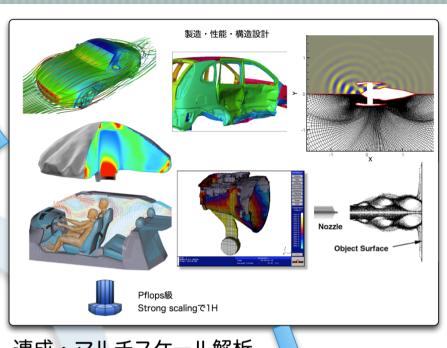
解析のターンアラウンド全体の短縮 複雑な境界条件を伴うソルバーの超並列解析技術



エンジニアが実問題の設計をシミュレーション データに基づいて検討する

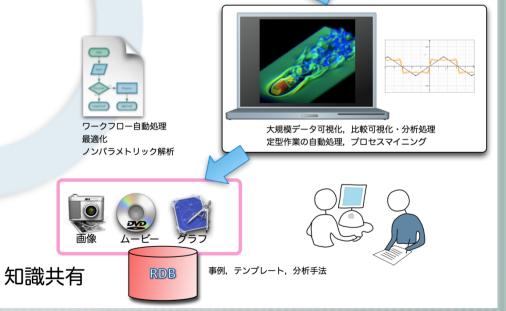


計算科学,計算機科学,情報技術,機械工学などの 分野融合技術を駆使した統合的なシミュレーション 技術の開発とシステム化が必要



連成・マルチスケール解析

ポストプロセス



Issues of large-Scale Simulation

Pre-process — Large-size model Simulation Accuracy, time, complexity **Post-process** File size, # of files, IO, usability,... Results -> 10~100TB unsteady, multi-variate, parameter study...

Issues of Post-process

Many files -> one, two, three...many

File I/O -> Slow, slow...

Large dataset >> High cost of data move, copy

needs scaling visualization and data processing system

leads scientific discovery -> Important infrastructure

- Image and Analysis
- Concentrate on thinking



Visualization Research in the Past

Current Techniques

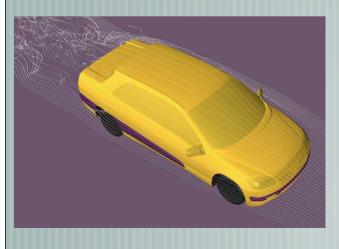
— Invented in 8o's

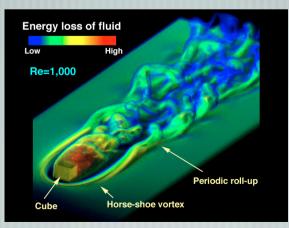
Increment

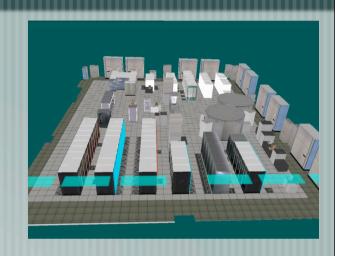
– 1990~ Parallel, GPU

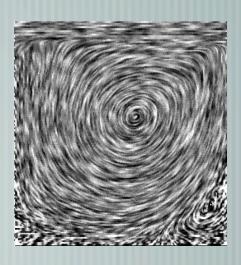
2000~ Large-Scale Dataset

Scientific Data Management









ケーススタディ 可視化分析のストーリー

場の全体構造の把握

- 一 流線やボリュームレンダリングなど
- 非定常挙動, ROIの特定

写実的イメージによる観察

— 人間の認識力を利用したディテールの把握

簡素化した表現

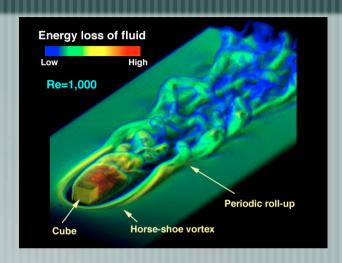
- 空間構造を記号的に把握
- 時系列の変化など複雑なものを抽象的に把握

詳細な分析

- 例えば,
 - ROIからの流線の逆積分
 - 温度勾配と渦との関係

知識への昇華

- 様々な分析結果を統合的に見て高次の知識へと昇華
- アノテーションによる知識表現



考える過程を支援 観察と分析を同時に

Technology Trend in Vis. Field

Parallel Rendering

Visualization System

Large Data Visualization, Level Of Detail

Time-Varying, Out Of Core

Volume Visualization

Surface/Geometry

Applications: Flow Vis., Bio-Med.

NPR, Illustrative Rendering

Feature Extraction

Perception

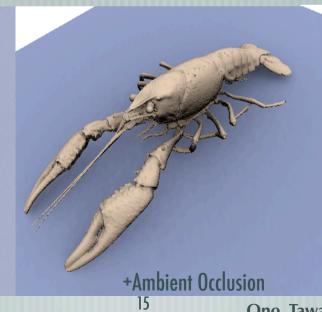
Vector/Tensor, Diffusion Tensor Imaging

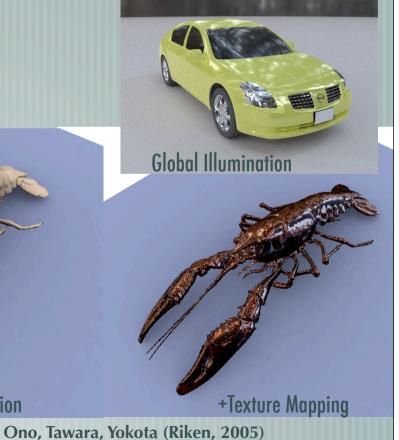


Photo Realistic Rendering

- faithfully imitate the Optics
 - Ray Tracing
 - Path Tracing
 - Global Illumination Indirect
 - Ambient Occlusion
 - BDRF...







Ray Tracing

Rendering (2)

Non-Photo Realistic Rendering

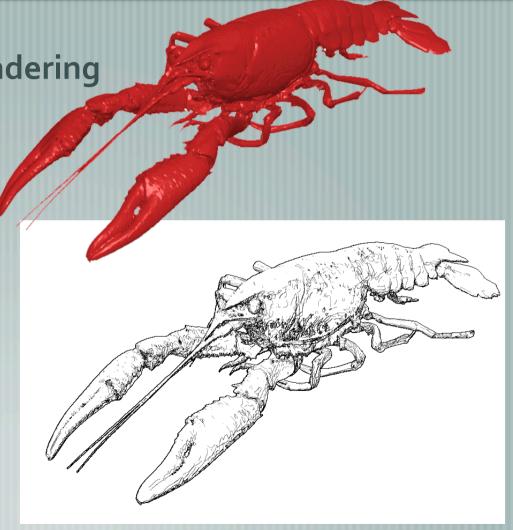
― 線画,スケッチ風

― 特徴を際立たせる

― 特徴の抽出

― 本質を描画

— S/N比の向上



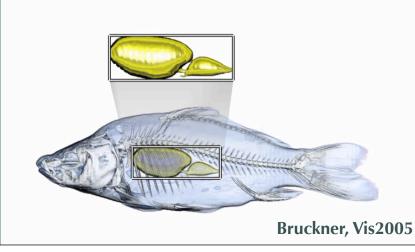
Ono, Tawara, Yokota (Riken, 2005)

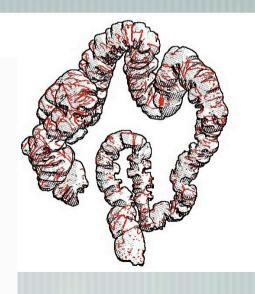
NPR, Illustrative Rendering

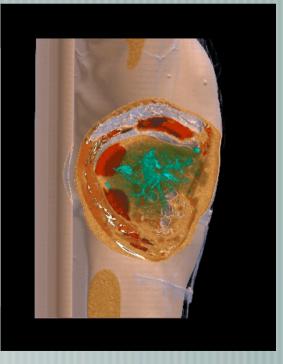
Fully dynamic illustration

Improve understanding

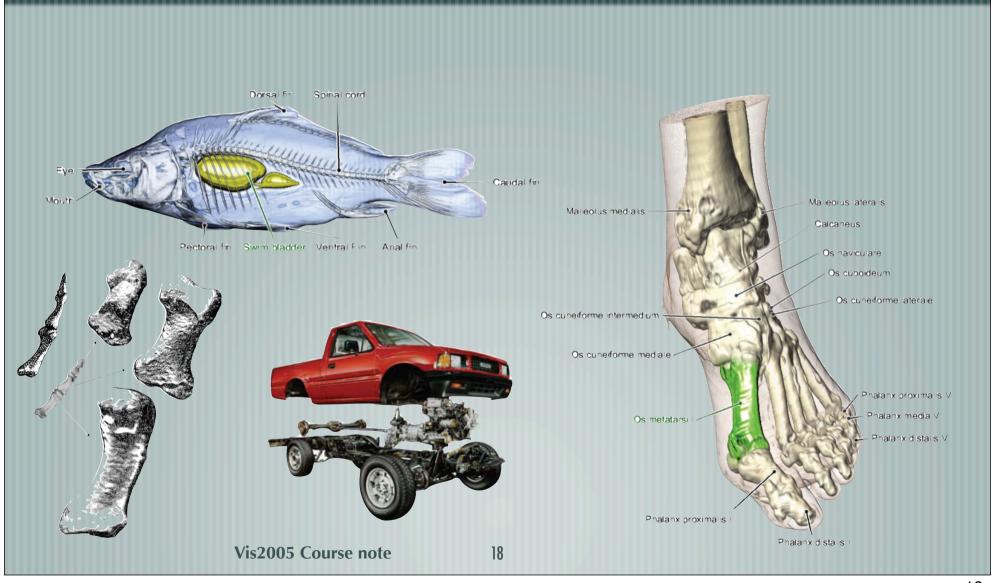
Importance Driven







Illustrative Rendering & Annotation



Help to Comprehension



Simplification



Abstraction

Vis2005 Course note

GPU Technology (GPGPU)

Driving force

- ― フィルム産業、医療分野、コンシュマーゲーム市場
- データストリームを効率的に処理するHW
 - 大量のデータに高密度な演算を施し、低レイテンシで出力
 - ― 並列処理向き(処理前後のデータ処理の依存関係がない)
 - 有効活用のためには、CPUとは異なるアルゴリズムが必要

Applications

- Linear algebra
- Sorting, Searching, Compression
- Physically-Based Simulations
- Rendering

Parallel Large Data Visualization

Query Driven Vis.

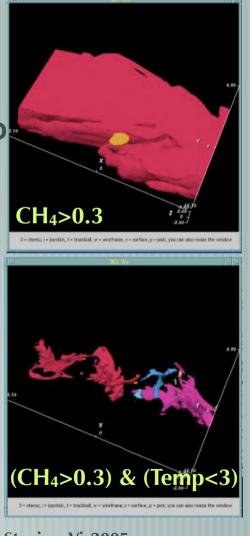
Distributed Data Management of Large Vo

Level Of Detail

Roaming

COTS Cluster-based Sort-last Rendering

OpenGL Multi-pipe SDK



Stocing, Vis2005

Time-Varying Large-Scale Data Set

─ 並列分散データ

- ― シミュレーションのデータ分割方法 ー 領域, オブジェクト
- データの移動はコストが高い (ディスクIOは低速)
- ― サーバークライアント方式
 - ― 要求(コマンド)に対し、結果(イメージ、情報)を返す

時系列データ

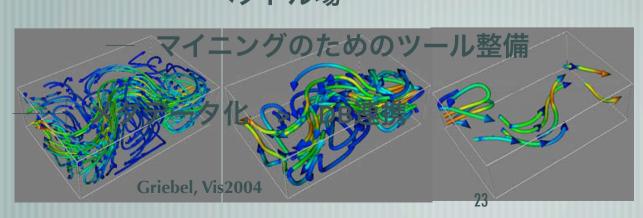
- 高速・並列IO
- 一 プリフェッチ

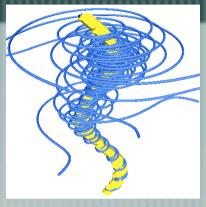
圧縮, メタ化

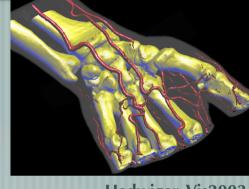
Feature Extraction

- 特徴領域(ROI)の抽出
 - Segmentation
- 対象分野毎の個別技術
 - 流体
 - 渦心の特定と抽出

 - ベクトル場
- 特異点解析 渦構造の同定

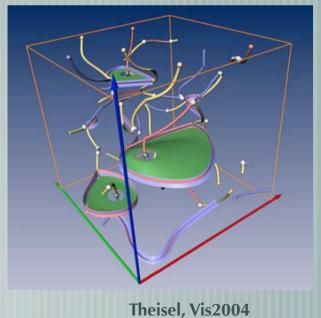






Jiang, Vis2004

Hadwiger, Vis2003



User Interface and Display Devices

Wall / Tiled Display

- 一 大画面,高解像度
- 一 プロジェクション技術

IPT

- CAVE, CABIN

立体視

- 一 アクティブ方式, パッシブ方式
- 一 裸眼立体視
- ユーザーの利便性を考慮したインターフェイス
 - ― 使いやすさ、カスタマイズ性



CABIN (IML, U.Tokyo)

インテリジェントデータリダクショ

ン機能

データ圧縮技術

- ― 符号処理による圧縮・伸長
- 量子化
- 一 間引き
- LOD技術

観察対象となるデータの抽出

- 領域選択(ROI, Region Of Interest),ROIの移動(Roaming)
- 特徴抽出(Feature Extraction)により、小規模のメタデータに変換

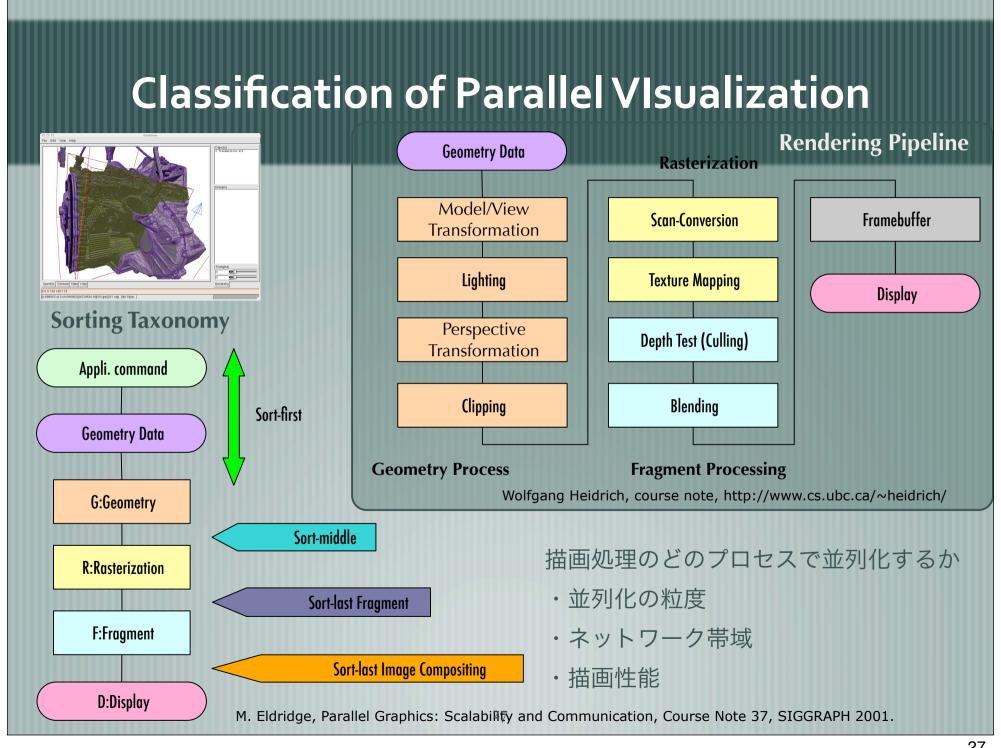
データベースの利用

- パラメータ並列の分析作業時のデータ管理
- 可視化結果の管理
- 生データとメタデータとの関連づけ

インタラクティブ可視化の前処理の機能も提供

大規模可視化の要素技術

Sort-Last Image Compositing **Interactive Visualization** In Situ Visualization (Intelligent) Data Reduction Visual Analytic **Data Management** Workflow



Various Scenario of Visualization

・サーバー/クライアントの実行モード

モード	クライアント	可視化プロセス
オンサイト	ユーザサイド	ユーザPC
	リモートサイド	サーバー
リモート	ユーザーサイド	サーバー

・ユーザインタラクション

・ インタラクティブ : ユーザの操作に応じて可視化

・バッチ : 定義されたシナリオに基づき可視化

実行タイミング

・リアルタイム : 計算途中に可視化(データが残せない場合)

・ポスト : 終了後に可視化(ディスクにデータを保存)

・レンダラー

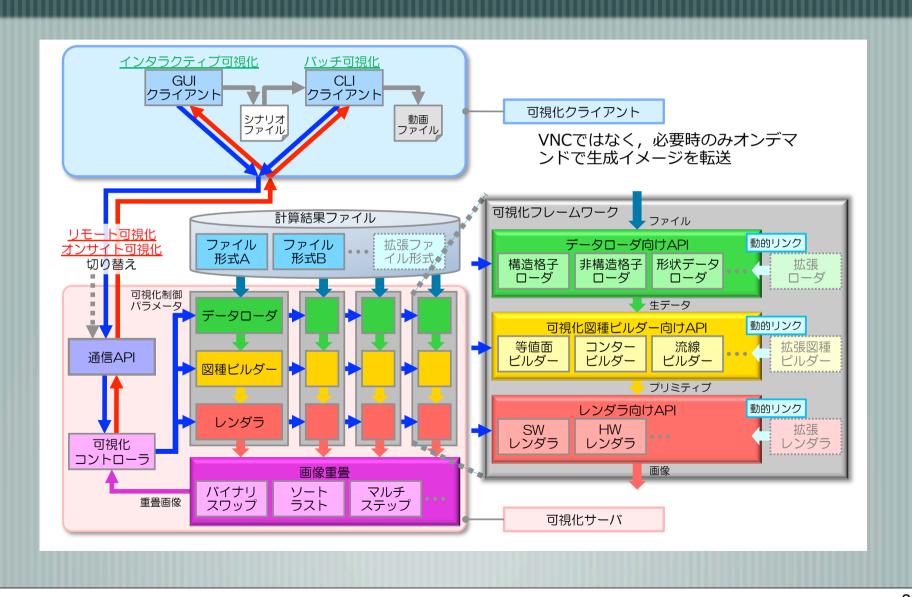
・ハードウェア : GPUを利用した高速描画

ソフトウェア : CPUで描画可能, 高品質

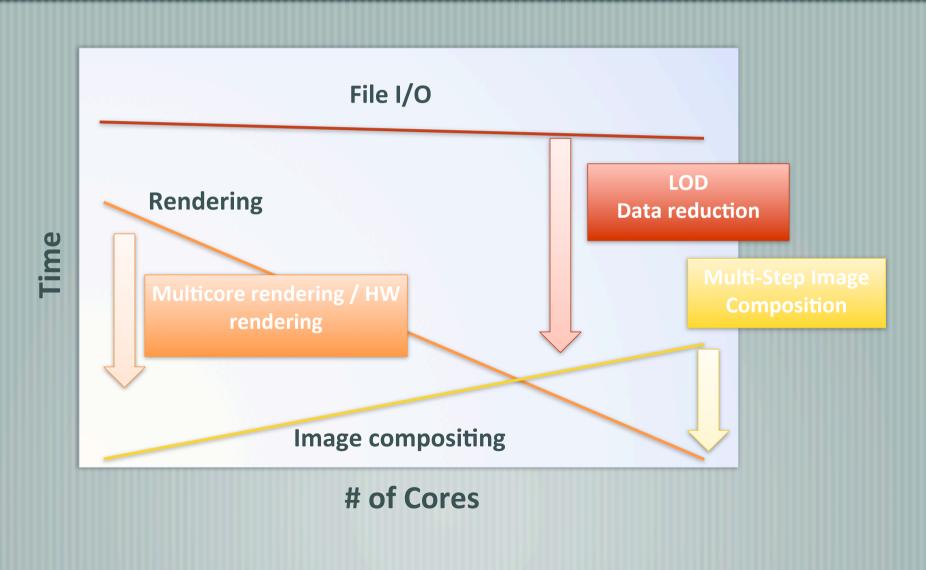


ューザPC

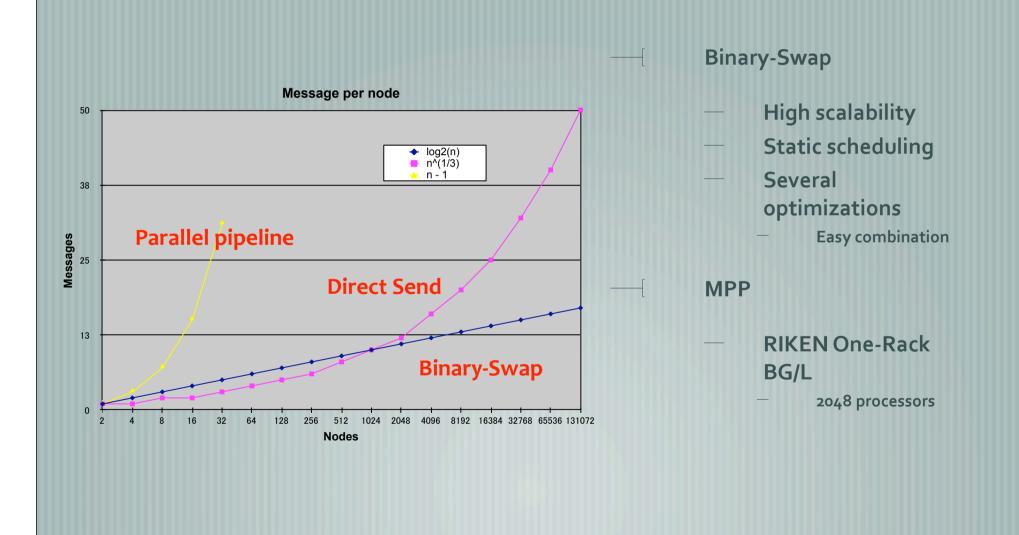
LSV (Large-Scale dataset Visualization)



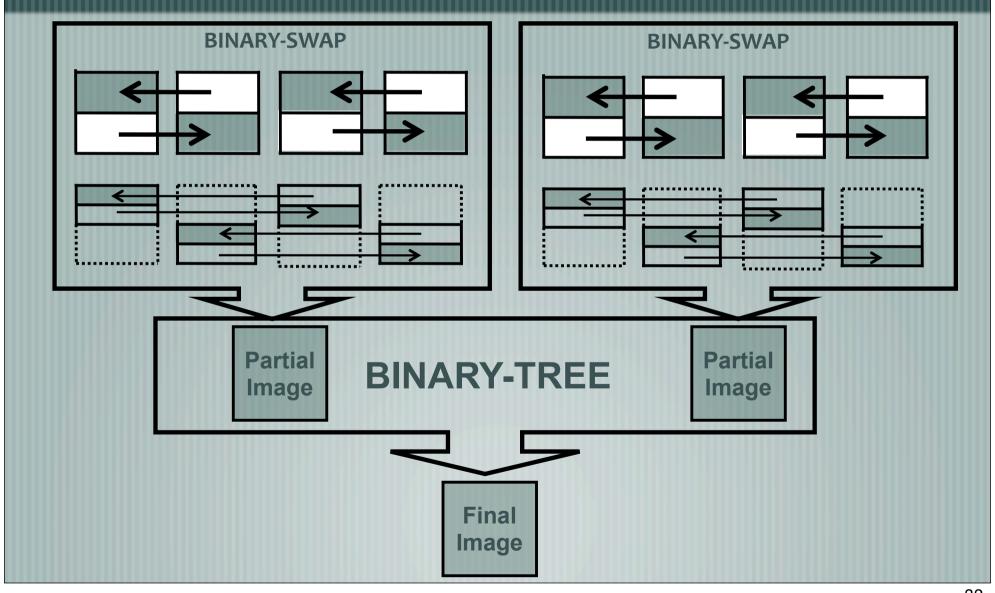
Strategy: interactivity and scalability

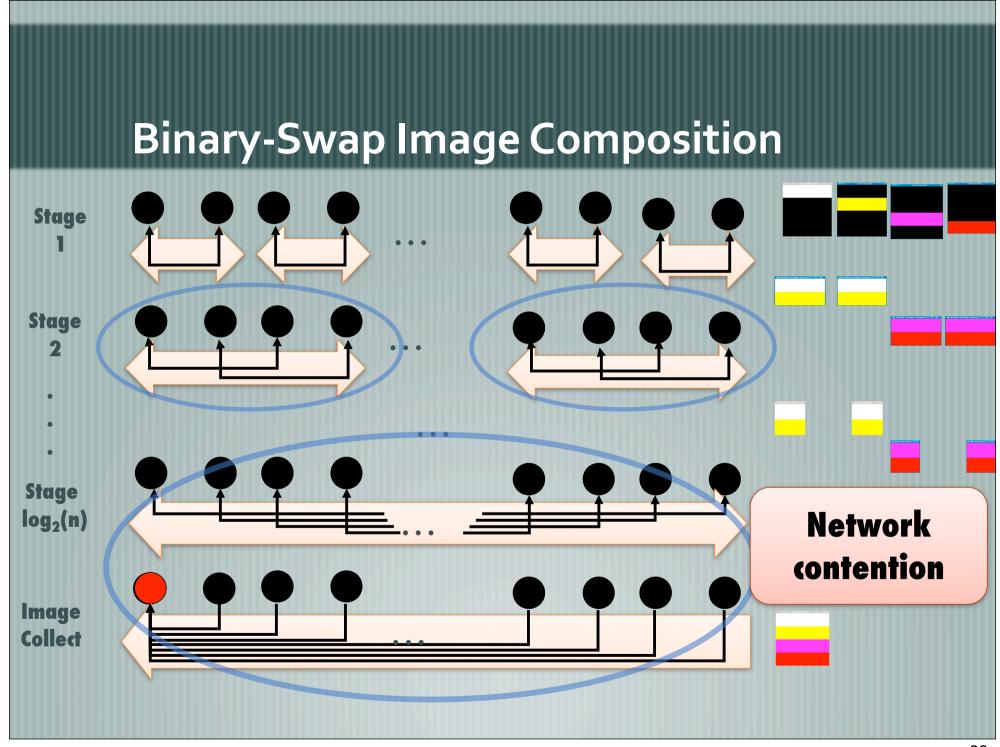


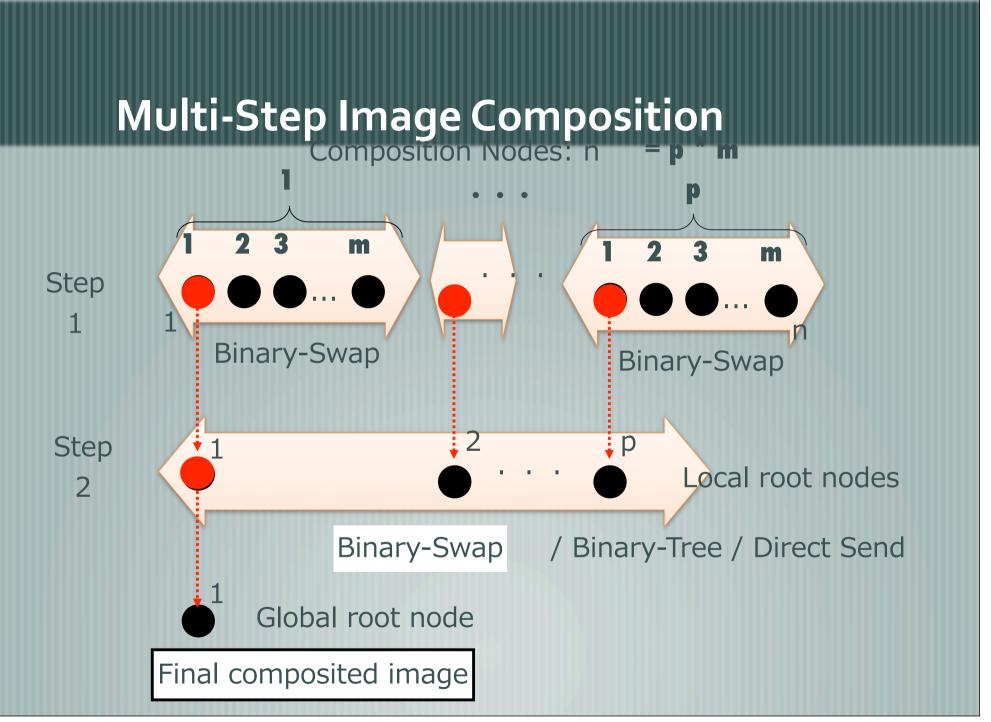
Performance of Image Compositing



Hybrid Image Compositing

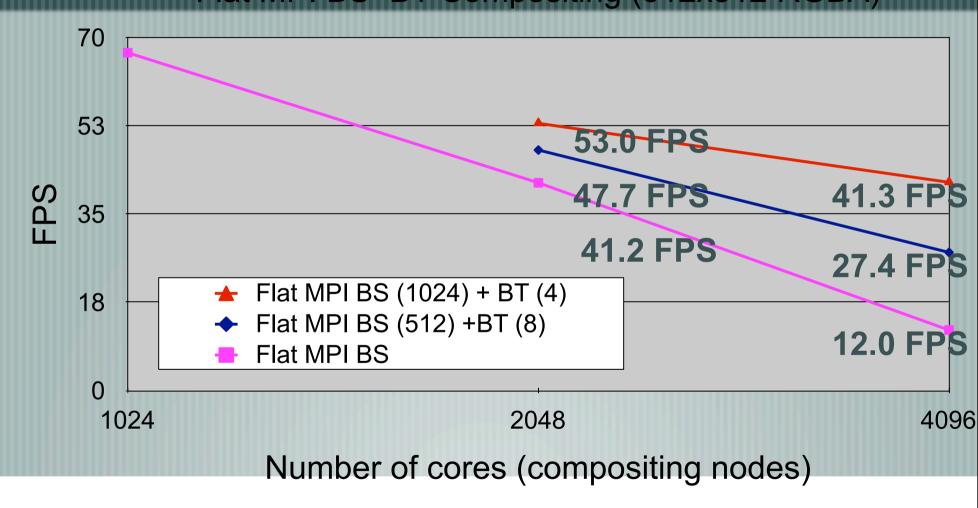






Multi-Step Image Compositing

Flat MPI BS+BT Compositing (512x512 RGBA)



ポスト処理のコンセプト

- シミュレーション結果から、有用な知識・情報を効率的に引き出す
- ― 様々な可視化手法による場の把握
- 一 生成された2次データの利用
- 一 イメージ化
- 一 データ分析
- 多様・大量なデータの管理のしくみ
- データ管理
- シミュレーション開始から分析後までの全てのデータ
- ― 個々のデータの関連づけ
- 処理の効率化
- ― 定型作業の自動処理
- ユーザ作業環境
- 単独で動作するコマンド、アプリの連携・緩やかな結合
 - シミュレーションの価値を増幅させる, 知識を得るためのツール群